

マネジメント体制



取締役

① 小倉 忠 代表取締役会長

② 加藤 博 代表取締役社長

③ 小倉 久也 代表取締役副社長
工業機材事業本部長

④ 東山 明 取締役専務執行役員
工業機材事業本部 副本部長 営業本部長

⑤ 夫馬 裕子 取締役執行役員
経営管理本部長

⑥ 小森 哲夫 社外取締役

⑦ 友添 雅直 社外取締役



執行役員



洞口 健一
専務執行役員
日本レヂボン株式会社
代表取締役社長



志手 秀司
常務執行役員
共立マテリアル株式会社
代表取締役社長



永田 滉
常務執行役員
開発・技術本部長



堀江 雅彦
常務執行役員
株式会社ノリタケコーテッド
アプレシブ
代表取締役社長



緒方 誠也
執行役員
工業機材事業本部
製造本部長



寄田 浩
執行役員
セラミックス事業部長



前田 智朗
執行役員
エンジニアリング事業部長



鵜飼 直行
執行役員待遇
工業機材事業本部
製造本部 副本部長
久留米工場長



市川 賢一
執行役員待遇
電子ペースト事業部長



中村 吉雅
執行役員待遇
経営管理本部 副本部長
財務部長



水口 宗成
執行役員待遇
食器事業部長
米国ノリタケ社長
ノリタケスリランカ会長



吉田 和正
執行役員待遇
工業機材事業本部
技術本部長

監査役

- ⑧ 白石 直之 常勤監査役
- ⑨ 左合 澄人 常勤監査役
- ⑩ 村田 隆一 社外監査役
- ⑪ 猿渡 辰彦 社外監査役

内部統制システム

当社は内部統制システムとして、「財務報告に係る内部統制規程」を定め、財務報告の信頼性を確保するための業務手順に対する継続的なモニタリングを実施するとともに、内部監査規程を定め、事業部門およびグループ会社の事業活動に関する法令準拠性にかかる内部監査を実施しています。これらの取り組みを通じて発見された事項のうち、重要なものは経営会議に報告されています。

また、コンプライアンス委員会を設置し、「ノリタケグループ企業倫理綱領」の周知および遵守を推進するとともに、その活動を通じて業務の適正性の確保に取り組んでいます。

なお、当社は業務の適正性を確保するための体制および監査に関する体制について、法令の改正および当社グループの現状に即して見直しを行っています。現在の「内部統制システムの基本方針」は、2015年5月12日開催の取締役会で改訂を決議したものです。

社外取締役と社外監査役の状況

取締役会の監督機能の強化、意思決定の透明性を高めるとともに、経営全般についての様々な助言・提言を得るため、企業経営に関する豊富な経験と幅広い見識を有する社外役員を招聘しています。

社外役員は、当社との間に人的関係、資本的関係、又は取引関係その他の利害関係はありません。

社外役員の活動状況

	氏名	主な活動状況
社外取締役	小森哲夫	金融機関での業務執行者としての経験で得られた豊富な知識と見識により、当社取締役会の業務執行に対する的確な助言や監督を行っています。
	友添雅直	企業での業務執行者としての経験から得られた豊富な知識と見識により、当社取締役会の業務執行に対する的確な助言や監督を行っています。
社外監査役	村田隆一	金融機関での業務執行者としての経験で得られた豊富な知識と見識により、当社取締役会の業務執行に対する的確な助言や監督を行っています。
	猿渡辰彦	企業での業務執行者としての経験から得られた豊富な知識と見識により、当社取締役会の業務執行に対する的確な助言や監督を行っています。

役員に対するトレーニング

取締役・監査役就任時に、役員として遵守すべき法的な義務・責任等について適切な説明を行い、必要に応じて外部研修機関も活用しています。就任後も適宜セミナーの受講等、必要なスキル・知識の習得に努めています。また、社外役員には、経営戦略、事業・業務内容、財務内容等について、個別に説明の機会を設けています。

取締役報酬の決定に関する方針

取締役の報酬は、固定報酬および業績連動報酬で構成されています。

固定報酬は、代表取締役が社外役員から意見を聴取の上、取締役等の役割および職責に相応しい役位別の報酬金額を設定、取締役会にて決定しています。

業績連動報酬は、株式交付規程に基づき、中長期的な企業価値向上を意識した経営へのインセンティブを付与するため、各事業年度の企業業績目標（連結売上高、連結営業利益等）の達成度等に応じて決定しています。固定報酬と業績連動報酬の比率については、中長期的な業績の安定と向上を重視し、業績連動報酬の割合が過度にならないように設定しています。

取締役および監査役の報酬等の総額(2018年度)

役員区分	報酬等の総額 (百万円)	報酬等の種類別の総額 (百万円)		対象となる 役員の員数 (人)
		固定報酬	業績連動報酬	
取締役 (社外取締役を除く)	301	219	82	6
監査役 (社外監査役を除く)	40	40	—	2
社外役員	36	36	—	4

サプライチェーンマネジメントの推進

ノリタケグループは安定して事業を継続するためには、サプライチェーンマネジメントが重要であると考えています。すべてのお取引先様と相互に信頼関係を構築し、各国の法律に準拠した取引に努めます。環境に配慮した原材料の調達を進めるとともに、紛争地域に由来する鉱物の購入には十分留意しています。

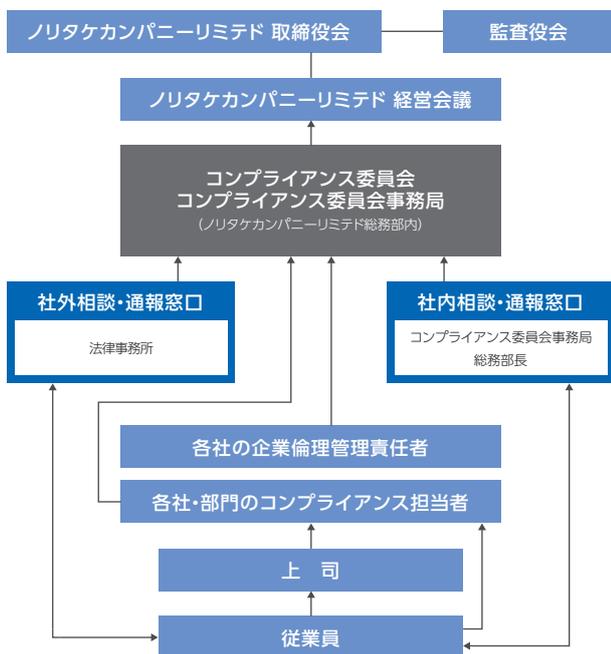
コンプライアンスの徹底

ノリタケグループはコンプライアンス委員会を設置し、コンプライアンス体制の強化を図っています。部門またはグループ会社ごとにコンプライアンス担当者を選任し、きめ細やかな活動を展開しています。専門的な知識を習得するための研修を実施しているほか、社内報では毎回、日常の業務に関わる法令などについて事例を挙げて分かりやすく解説し、全従業員への周知を図っています。

内部通報制度の整備

全従業員が法令、行動基準、社内規程などの違反やその疑いのある行為を発見したときには、管理責任者や上司を通さず直接相談・通報できる窓口を、社内外に設けています。通報者や内容に関しては、この対応に必要な場合を除き、秘密を厳守します。また、相談や通報をしたことによって、会社から不当な扱いを受けることはありません。

コンプライアンス体制図



腐敗防止への取り組み

「ノリタケグループ企業倫理綱領」を制定し、その中で贈賄防止等に関する法令の遵守と業務遂行に当たって守るべき倫理規程を定め、全従業員への周知徹底を図っています。

リスク管理体制の整備

経営上の問題や事故、災害などで企業価値を損なうような危機に直面した時、可能な限り損失を低減し、事業を継続させることができるよう「危機管理規程」を定めています。この規程では、「安全、とりわけ人命を最優先すること」を第一とし、危機が発生した時は直ちに対策本部を設置して対応することを定めています。

また、あらゆる危機の発生を想定し、いざという時に迅速かつ適切に対応できるよう、日頃から全従業員への周知を図り、「危機管理体制」の確立に努めています。

情報セキュリティの強化

個人情報を含めた情報資産の保護については、リスクを排除し、安全に事業活動を行うため、「情報セキュリティ管理規程」を定めています。この規程は、すべての役員、従業員に対して情報セキュリティに関する行動規範を示すもので、これに基づいて、対策標準や実施手順書を作成し、運用しています。

また、担当役員のもとには推進部門を置き、セキュリティ強化に取り組んでいます。不正アクセスやサイバー攻撃に備えて、厳格なID管理、パソコン操作ログ取得、セキュリティオペレーションセンターでの24時間監視、標的型メールへの対応訓練などを実施しています。

個人情報保護方針

ノリタケグループは個人情報の保護の重要性を十分に認識し、わが国の「個人情報の保護に関する法律」を遵守するほか、各国の法律に留意して、お客様からご提供いただいた個人情報の適正管理に取り組んでいます。

参考URL [個人情報の保護]

https://www.noritake.co.jp/utility/privacy_policy/

防災・減災への取り組み

大規模災害の発生を想定した避難訓練を、事業所単位で年2回実施しています。

また、BCP（事業継続計画）については、一部の事業において策定を始めました。

社外取締役からのメッセージ

体制や仕組みづくりと並行し、つねにガバナンスの実効性をチェックし、改善を続けていくことが重要だと考えています。

小森哲夫社外取締役にノリタケグループのコーポレート・ガバナンスに関する意見や提言を伺いました。

●社外取締役としてどのような役割を果たしていますか。

まず、すべての取締役会に出席し、審議事項に対して率直に意見を言うように努めています。経営計画の策定 進捗状況 成果の振り返り あるいは、コーポレート・ガバナンス コンプライアンスなど多岐にわたって意見を求められますので、必要に応じて社長 社外取締役 社外監査役など少人数のミーティングの場を都度 設けディスカッションを行っています。現在、指名報酬委員会は設置されていませんが、私を含む社外取締役、社外監査役は役員報酬 役員人事などについて意見を申し上げる機会が設定されています。

その際に私が重要視していることは当社グループの持続的な発展に資するかどうか、さらに外部の視点から見ての合理性 公正性が確保されているかという点です。そして、私が社外の立場から発言したことで異なる視点が加わり、議論がより活発になればと考えています。

また、そうした私の発言に対し役員 社員は非常に真剣に受け止め対応してくれているという実感を持っています。

●ノリタケグループの印象について聞かせてください。

生産現場に出向き、社員と触れ合う機会ももっています。そうした時に感じることは、歴史に裏打ちされた理念がある会社だということ。100年以上前に志の高い人たちが国益になる事業をと創業し、形を変えながらも現在まで発展してこられたのは、創業の精神や社是が太い柱となって社内に根付いているからだと感じています。そして、もうひとつは国際性です。創業時から輸出を行ってきただけあって、拠点の面でも人材の面でも世界をフィールドとしてきていることに当社の特長があります。

最近では企業の不正や不祥事が数多く発覚し、企業の依って立つところが非常に重要視される時代です。今後も飾りではない企業理念がノリタケグループを支えると思います。

●ノリタケグループの強み、弱みとはどのようなものでしょう。

強みが弱みとなり 弱みが強みであることは多々ありますが、高級陶磁器のトップメーカーとして築いたブランド力 信用 知名度は当社の強みです。また、陶磁器製造で培った技術を発展させ、研削砥石においてもトップシェアを獲得することができました。今後はこれらの技術基盤、顧客基盤をさらに活かした新たな事業の柱を創造していくことが最大の課題だと思います。

当社の製品は食器以外ほとんどがオーダーメイドで、特定のお客様と使用用途を定めサイズ 精度などをすべて個々に設計して製品をつくるやり方です。お客様との繋がりという点では他社がまったく入り込めない強さがあり、それが当社の強みとなっています。しかし、ひとたび環境や情勢に変化があると、かえって弱みになる場合があります。つねにそういうリスクを念頭に顧客開拓や商品開発などに努め、セラミック・マテリアルやエンジニアリングの領域でも新たな事業の柱を育ててほしいと思っています。

2019年3月までに本社工場跡地の売却が完了し財務的により強い体質になりました。今後は投資効率を高めながら積極的な開発投資を実行し、限りなく新しいセラミックに挑戦し続ける会社に成長してほしいですね。

●コーポレート・ガバナンスについての考えを聞かせてください。

社外取締役が果たさなければいけない 期待されている役割は当社のガバナンス上 非常に大きいと感じており 私自身がつねにそれを念頭において行動していくことが非常に大事だと思っています。

そして、体制や仕組みづくりと並行しそれらが実質的にガバナンスに寄与しているかを逐次チェックし毎年毎年改善を図り当社に必要なガバナンスの在り方を追求し続けていくことが必要だと思っています。

社外取締役
小森 哲夫
Tetsuo Komori

